

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成28年8月25日(2016.8.25)

【公開番号】特開2015-132407(P2015-132407A)

【公開日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-046

【出願番号】特願2014-3566(P2014-3566)

【国際特許分類】

F 2 4 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 11/02 Z

F 2 4 F 11/02 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月6日(2016.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

室内機とともに空気調和機を構成し、プロペラを備えた室外機であって、
 前記室内機から供給される交流電源を直流電源に変換する交流直流変換手段と、
 前記交流直流変換手段と並列に接続する電解コンデンサと、
 前記電解コンデンサと並列に接続し、スイッチング素子を駆動して生成した交流電源を
 モーターに印加するインバータと、
 前記スイッチング素子の駆動を制御する制御手段と、
 前記制御手段と前記室内機との間で通信を行う通信手段と、
 前記電解コンデンサと並列に接続し、前記制御手段に供給する電源を生成する制御電源
 生成手段と、
 前記交流電源から電源周期信号を生成する電源周期信号生成手段と、
 を備え、
 前記交流電源の供給が遮断された運転停止中に、前記プロペラに外風が当たり、前記モ
 ーターが回転して発電状態となった場合、
 前記制御手段は、前記室内機との通信状態および前記電源周期信号の状態に基づいて前
 記モーターによる発電を検知したときは、前記室内機との通信異常を無効にする
 ことを特徴とする室外機。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記室内機からの信号の入力が無く、かつ、前記電源周期信号の入力
 が無い場合に、前記発電状態になったと判定する
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の室外機。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記交流電源の供給が停止され、前記室内機との通信および前記電源
 周期信号が途絶えてから規定の時間経過後、前記室内機との通信異常を無効にする
 ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の室外機。

【請求項 4】

前記制御手段は、通信異常を無効にした場合に、前記室内機から前記交流電源が供給さ
 れ、運転開始の通信信号を受信したときは、自身のリセット動作を行う

ことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 つに記載の室外機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上述した課題を解決し、目的を達成するために、本発明は、室内機とともに空気調和機を構成し、プロペラを備えた室外機であって、前記室内機から供給される交流電源を直流電源に変換する交流直流変換手段と、前記交流直流変換手段と並列に接続する電解コンデンサと、前記電解コンデンサと並列に接続し、スイッチング素子を駆動して生成した交流電源をモーターに印加するインバータと、前記スイッチング素子の駆動を制御する制御手段と、前記制御手段と前記室内機との間で通信を行う通信手段と、前記電解コンデンサと並列に接続し、前記制御手段に供給する電源を生成する制御電源生成手段と、前記交流電源から電源周期信号を生成する電源周期信号生成手段と、を備え、前記交流電源の供給が遮断された運転停止中に、前記プロペラに外風が当たり、前記モーターが回転して発電状態となった場合、前記制御手段は、前記室内機との通信状態および前記電源周期信号の状態に基づいて前記モーターによる発電を検知したときは、前記室内機との通信異常を無効にすることを特徴とする。